

「何人ものニュートンがいた (There were several Newtons)」と言ったのは、科学史科ハイルブロンである。同様にコーヘンは「ニュートンはずねに二つの貌をもっていた (Newton was always ambivalent)」と語っている。

近代物理学史上でもっとも傑出しもっとも影響のある大きな人物がニュートンであることは、誰しも頷くことであろう。しかしハイルブロンやコーヘンの言うように、ニュートンは様々な、ときには相矛盾した顔を持ち、その影響もまた時代とともに大きく変っていった。